

□ □ □ □ □

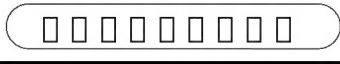
R

[illegible]

RI U-2301


















































































[illegible][illegible][illegible][illegible]

□ □ □ □ □ □2□ 3
□ □ □ □ □ □4
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □5
□ □ □ □ □6
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □7□ 8
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □9
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □10
□ □10
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □10□ 11
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □11
□ □12
□ □13□ 15
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □16
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □17□ 18
□ □ □ □ □ 10□ □ □ □ □ □ □ □19
□ □ □ □ □ 20□ 30□ □ □ □ □ □ 1□ □ □ □ □20
□ □ □ □21
□ □ □ □22
□ □23
□ □ □ □ □24



-

[illegible]

各部の名称と説明

回線別表示部

それぞれ設定された回線場所を記入してください。

ラック取付穴

付属の半丸皿ねじでラックに取付けてください。

回線別選択スイッチ

(1～5回線)

それぞれの必要回線を押してください。再び押しますと切れます。

回線別選択スイッチ

(6～10回線)

それぞれ必要回線を押してください。再び押しますと切れます。

使用中表示部

設定されたものを記入してください。

使用表示灯(赤)

リモコンなど、外部より本ラックを制御したときに、それぞれ表示灯を点灯させることができます。(外部制御の機能設定法の⑥使用中表示灯の設定の項を参照。)

一斉スイッチ(オール)

このスイッチを押すことにより、回線別選択スイッチに関係なく全回線が動作します。再び押しますと切れます。

JC4 制御用コネクタ

外部からの制御信号入力用コネクタです。
(別売コードVG-3/27)

JC5 予備

JC8 予備

JC3 制御用コネクタ

外部からの制御信号入力用コネクタです。
(別売コードVG-2/27)

JC1 制御用コネクタ

増設入力用です。

JC7 制御用コネクタ

出力リレーユニットRIU-2301のJC1と接続します。
(別売コードVU-5/23)

JC6 制御用コネクタ

ミキサーユニットRIX-3611またはRIX-2311JC1と接続します。
(別売コードVU-2/3)

JC2 制御用コネクタ

増設ユニットのJC1と接続します。
(別売コードVU-4/1)

注) コネクタ付近の三角マークはコネクタの1番ピンの表示です。

各種の機能

① スピーカ回線スイッチの増設

本機を2台増設することができます。

② 一斉スイッチ

ア) 一斉放送から、一斉緊急放送に変更できます。(10ページ)

イ) 一斉スイッチを割込放送スイッチに変更できます。割込放送とは、その他の入力信号機能に優先して、特定の入力(ミキサーユニットのマイク1、あるいはライン5)のみ放送する機能です。音量はミキサーユニットで個別に設定できます。(10ページ)

③ 回線別選択スイッチをスピーカ回線のグループ制御動作に変更することができます。(10ページ)

例) スピーカ回線1のスイッチで、スピーカ回線1と3と5をまとめて入・切できます。ただし、この変更には次の制約があります。

ア) 1～5、6～10の5スイッチのセットで変更になります。(したがって、使わないスイッチができることもあります。)

イ) グループ制御と、個別制御の両方を1つのスイッチですることはできません。

ウ) グループ制御にしたスイッチの数だけ、外部制御入力が減ります。

④ 外部制御ができます。

外部より制御信号をもらって本体ラックを制御する機能で、リモコン、ページングやチャイム等に使用します。放送パターンや、信号入力回路の選択を任意に設定できます。また、割込放送制御の設定も可能です。出荷時に動作が設定されている部分もあります。(5ページ⑤項) (ダイオードの取付による設定)

⑤ 外部制御機器の使用中表示をすることができます。

A、B、C、D4灯で、Aはチャイム制御に固定されています。B、C、D、は任意に設定することもできます。(ダイオードの取付による設定) (9ページ⑤項)

⑥ 本ラックの使用中表示信号を出せます。(JC4の4、5番ピンで使用中表示1と2です)

トランジスタ出力(オープンコレクター) DC35V 50mA (定格内でご使用ください。)

●本ラック動作時 ON (出力信号ローレベル)

●非動作時 OFF (出力信号ハイレベル)

出力1 (BUSY1) JC4-4 本体側起動および外部機器使用中表示灯〈A、B、C〉点灯時出力

出力2 (BUSY1) JC4-5 本体側起動および外部機器使用中表示灯〈A、B、D〉点灯時出力

⑦ 本ラックの電源起動ができます。(JC4の1～3番ピンで電源起動1～3です。)

⑧ 外部制御信号に優先をつけることができます。(10ページ)

固定あるいは、先着優先にて8回路まで。オプションの優先制御基板RK-SR1と優先制御選択基板RK-SR2が必要で、後着優先はできません。

外部制御の機能設定方法

外部よりの制御信号を接続する端子を決定し(制御信号の入力されるDM基板の行が決まります。「1～14行」)、機能を持った列(A～M等)との交点にて、必要なだけのダイオードでつないでください。ダイオードは図2、3を参照し取り付けてください。A～M列より1～14行のほうへ電流が流れるよう(印刷の向きに合わせて)ダイオードを取り付けます。制御線をどのように使用するかを、あらかじめ決めておいてください。

設定の手順

図2、3を参照しながら、次の番号の順に決定し取り付けてください。

①外部制御信号を接続する端子を決定します。(JC3の1～27番ピン)

自動的にDM基板の行が決まります。

※DM基板(1)と(2)の両方を制御する場合には、2つの方法があります。

ア) JC3の27番を使用する。

イ) JC3の10～13番、23～26番のどれか1つを使用し、図3のPK-RR101Jの中で、両DM基板に制御信号を分配する。

②電源起動制御(Rp)の設定

本体ラックシステムの電源を入・切する機能です。①で決定された制御入力と、M列との交点にダイオードを取り付けます。

※外部制御機器が電源起動の専用制御線を持っている場合は、電源起動制御入力JC4の1～3を使用することもできます。この場合、M列のダイオードは不要です。

③信号入力回路の設定

音声等の信号入力回路を決め、これの入・切制御をする機能です。このエリアの列(J～K)のうち、1つを選びます。(G～Iは予備)①で決定したパー(行)と、J、K列(L5、L4対応)のどちらかとの交点にダイオードを付けます。(K列を選択されている場合には、割込放送はできません。)

音声信号の入・切をしない場合(入切制御をしない音声入力を使用するい場合を含む)は、この項の設定はいりません。

④スピーカ回線の設定

どのスピーカ回線を使用するかを決め、その入・切を制御する機能です。①で決定した行と、A～F列との交点にダイオードを付けます。(この機能は、複数個を取り付けることができます。)

例1)スピーカ回線1～3使用：DM基板(1)のABC列との交点に、ダイオードを付けます。(3個)

例2)スピーカ回線1～10一斉：DM基板(1)と(2)のA～E列との交点、それぞれにダイオードを付けます。(10個)

例3)一斉緊急放送：DM基板(1)と(2)のF列との交点、それぞれにダイオードを付けます。(2個)

⑤使用中表示灯の設定

使用中表示灯を点灯させる機能です。③で選択し、設定した信号入力回路の列(G～K)と、16L、17L(使用中表示灯設定エリア)との交点に、ダイオードを付けます。このとき、DM基板の□で示した場所のダイオードは、他とは逆の取り付け方をしてください。

- DM基板(1)の16L行は、表示灯B
- DM基板(1)の17L行は、表示灯C
- DM基板(2)の17L行は、表示灯D

※表示灯Aは、あらかじめチャイム制御(JC3の28番)に設定されています。

Aを点灯したい場合は、チャイム制御入力をご使用ください。

注)②、③の機能については、制御がDM基板(1)、(2)の両方にまたがっている場合は②、③それぞれ1個のダイオードを、どちらかの基板に取り付けてください。(両方にはいりません)

注)④のスピーカ回線設定用のダイオードは、すべての回線の分を取り付けることができます。

一斉スイッチの機能の変更

① 一斉緊急放送にする方法 [2つの方法があります。]

- DM基板(PK-RR101DM)の16U行に付けてあるダイオード(5個)をはずし、16U行とF列の交点にダイオードを取り付けてください。
- 基板(PK-RR101J)のD4,D5をはずしてD7,D8にダイオードを取り付けてください。

② 割込放送にする場合

図4のPK-RR101Jでの作業は次のとおりです。

ア)J25を切ってください。

イ)26とTPをつなぎます。(線材は別途手配願います。)

ウ)27と28をつなぎます。(線材は別途手配願います。)

図3のDM基板(2)での作業は次のとおりです。

ア)16L行とM、L列それぞれとの交点にダイオード2個を付けます。

注)スピーカ回線は一斉放送で、一斉緊急放送にする場合は①の作業も必要です。

回線別選択スイッチで、スピーカ回線のグループ制御をする方法

あらかじめ、スピーカ回線の放送パターンを決めておいて、そのグループを1つのスイッチで入・切する方法です。

注)変更したいスイッチが1個であっても、5個一語に変更されます。

次の手順で変更してください。

ア)DM基板のCN1をはずしてください。

イ)ア)ではずしたコードをCN6あるいはCN7につないでください。DM基板(1)と(2)にまたがってグループとするときは、CN6につなぎ、そのうち10行、11行を使用してください。(PK-RR101Jでつなげます。)

ウ)イ)の操作で各スイッチにつながるDM基板の行が決まりますので、その行とA～F列(スピーカ回線制御)との交点に必要な数のダイオードを取り付けてください。

注1) 10行、11行で2つのDM基板にまたがって使用するときは、基板PK-RR101Jで10行では、43と47を、11行では44と48をつないでください。(線材は別途手配願います。)

注2) CN7で接続される部分は、出荷時の設定ですでに使用しています。

制御信号に優先をつける方法

固定優先、あるいは先着優先で、8回路までです。また、優先回路の数により、次のオプションの基板が必要になります。

- 4回路まで 優先制御選択基板 RK-SR2×1/優先制御基板 RK-SR1×1

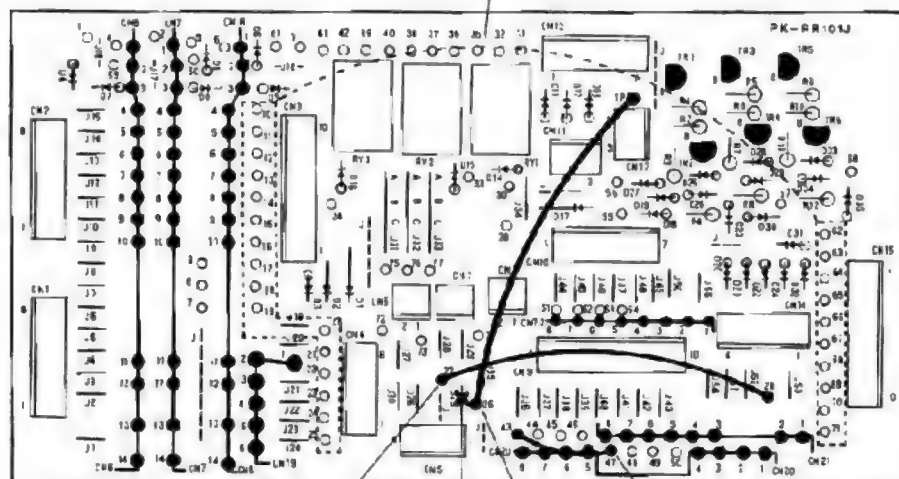
- 8回路まで 優先制御選択基板 RK-SR2×1/優先制御基板 RK-SR1×2

RK-SR1、RK-SR2の取扱説明書に従って取付、接続してください。RK-SR2の基板(DM基板になっています)にダイオードを接続しますと、JC4の8～15番が、優先COMとなります。優先関係の制御信号は、PK-RR101J(図4)のCN3、CN4のとなりにある10～25より、CN15のとなりにある62～71へ任意に配線し、優先回路入力にします。(線材は別途手配願います。)

- スピーカスイッチユニットRIS-R101を増設している場合、どのスイッチユニットにもオプション基板を取り付けることができます。接続に一番便利なユニットに取り付けてください。

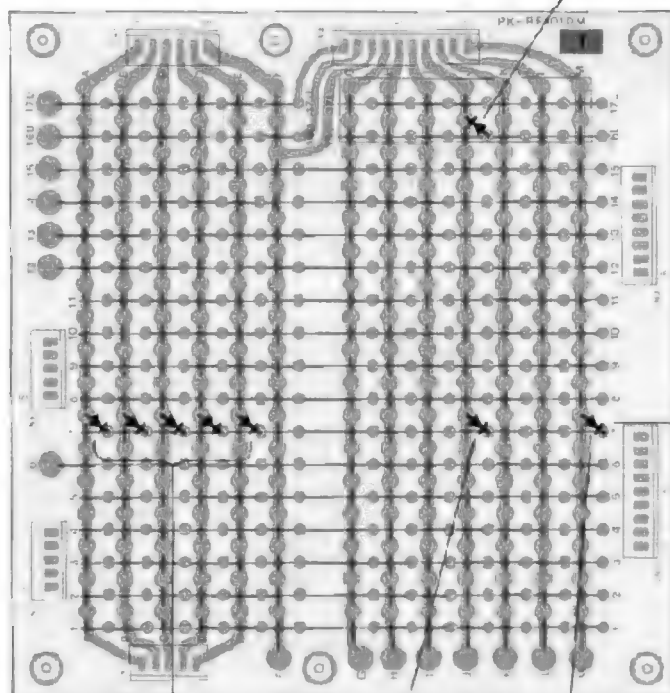
「動作原理」

最優先以外の優先関係にある制御信号のCOMはすべて優先COMに接続し、優先される回路のCOMを切断することにより、優先を付けます。(8回路ですべて先着優先としたときには、ダイオードが56個必要です。)オプションの基板RK-SR2、RK-SR1の取扱説明書を合わせてご覧ください。



The diagram illustrates a sequence of 20 rectangular blocks arranged in three rows. The top row contains 10 blocks, the middle row contains 10 blocks, and the bottom row contains 10 blocks. The blocks are arranged in a staggered pattern, with the middle row shifted to the right and the bottom row shifted further to the right. The blocks are labeled with numbers 1 through 20.

Age Group	Number of People
0-10	10
11-20	15
21-30	25
31-40	20
41-50	15
51-60	10
61-70	5
71-80	3
81-90	2
91-100	1

[illegible][illegible]

増設 表示は30回線時/20回線時は（ ）内

●増設に必要なコード及び接続

- ・制御入力 JC4 外線接続用コード VG-4/27 1本 (1本)
JC3 外線接続用コード VG-2/27 2本 (1本)
- ・出力リレー制御 ユニット間接続用コード VU-5/23 2本 (1本)
本機 JC7 ——— 出力リレーユニットRIU-2301 JC2,JC3
- ・スイッチユニット間の制御接続 ユニット間接続用コード VU-4/1 2本 (1本)
元(1~10回線用) JC2 ——— 増設(11~20回線用) JC1
増設(11~20回線用)JC2 ——— 増設(21~30回線用) JC1
15ページ(14ページ)接続図参照

●一斉スイッチ

- 増設しますと一斉スイッチが3個(2個) 存在することになります。
- ・標準仕様のとき 3個共、同機能(一斉放送)
- ・一斉緊急放送に変更可 3個共、同機能(ダイオード取付の変更)
- ・3個別々の機能をもたせることもできますが、内部接続の変更が必要です。

●外部機器使用中表示灯(A,B,C,D)

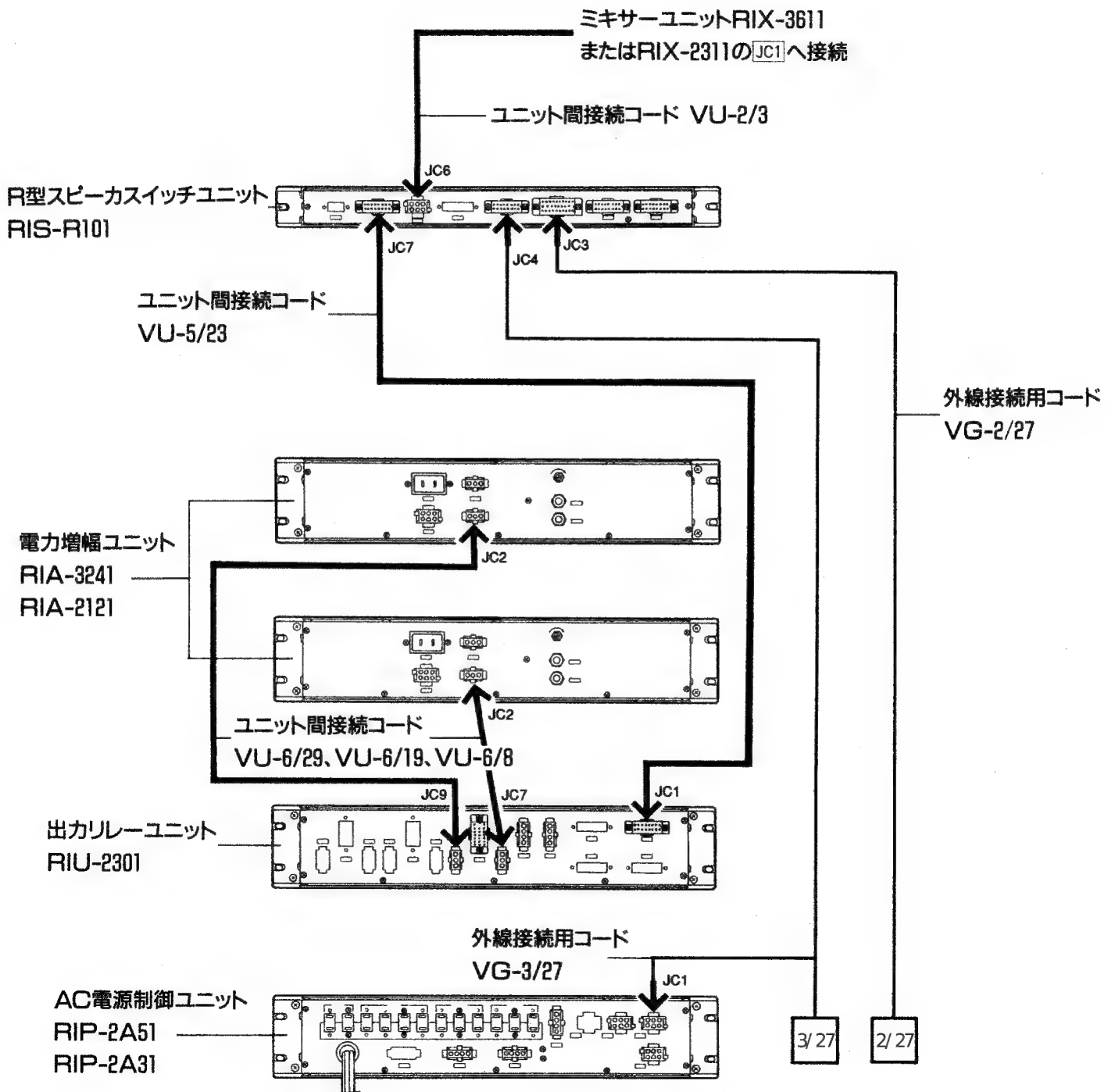
- 増設しますと使用中表示灯が3組(2組) 存在することになります。
- ・標準仕様のとき同一の表示をおこないます。
(A=A, B=B, C=C, D=D)
- ・別々の表示をおこなうこともできます。(Aの表示を除く)
DM基板のダイオード設定を変更します。
(各DM基板 16L,17Lの設定)
7ページDM基板説明の項参照

●制御信号のユニット間分配

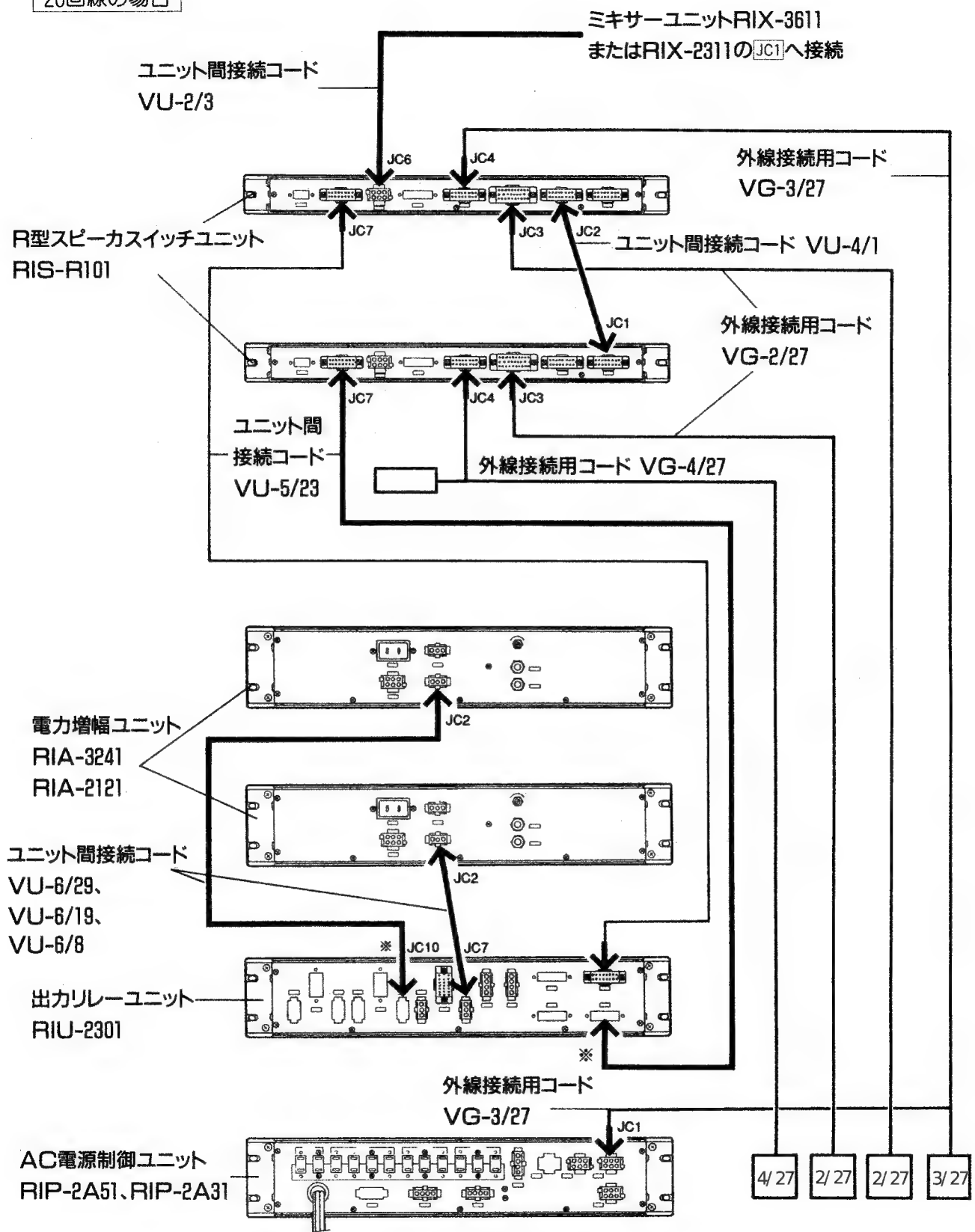
- 各ユニット別々に入力された制御信号を増設用コネクタJC1,JC2の1,2,4,5,6,7のラインを用いて他の
スイッチユニットへ送ることが可能です。
(内部接続の変更が必要です。)

出力リレーユニット及びAC電源制御ユニットとの接続図(例)

10回線の場合

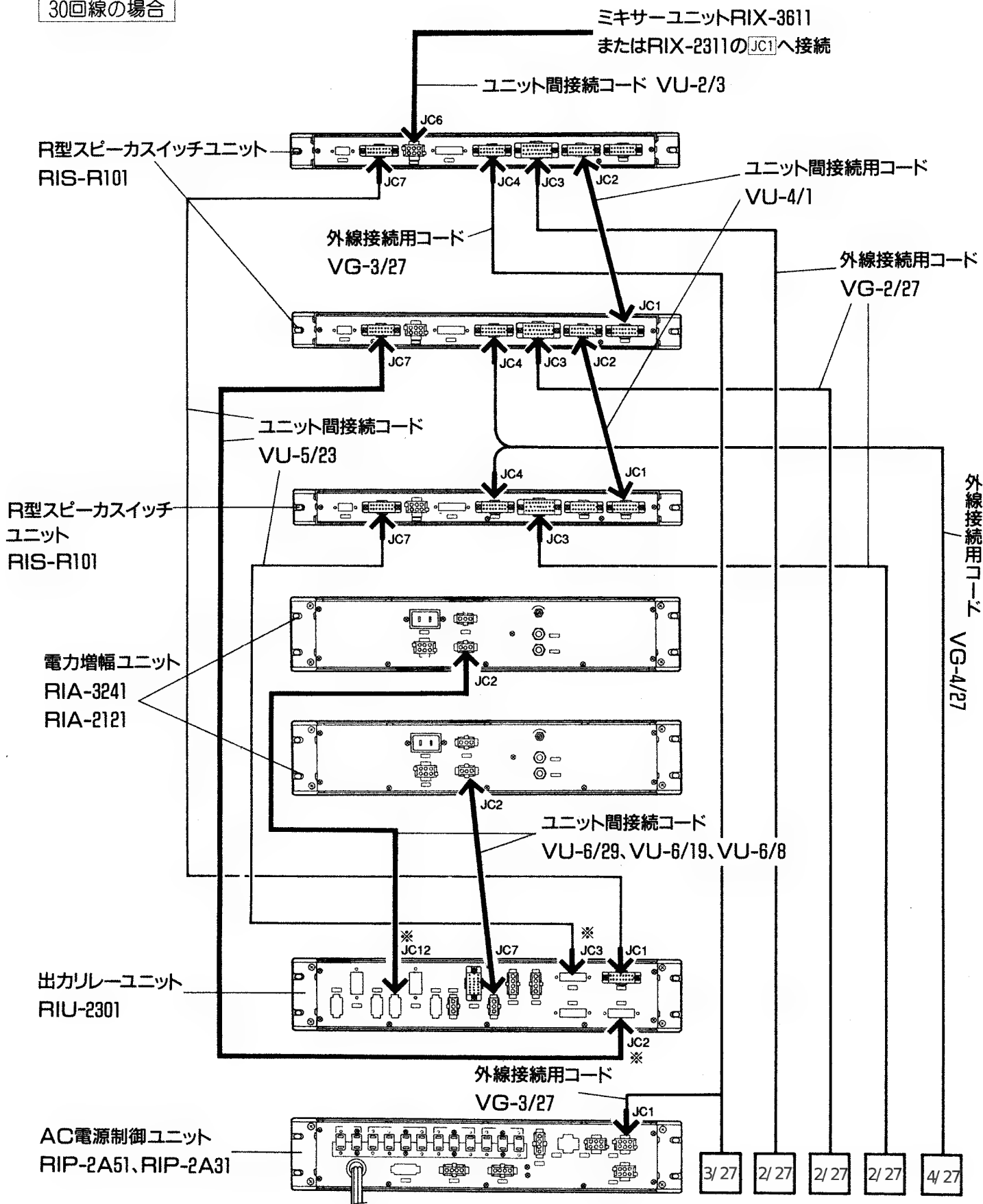


20回線の場合



※出力リレーユニット RIU-2301はオプションユニットの追加が必要です。

30回線の場合

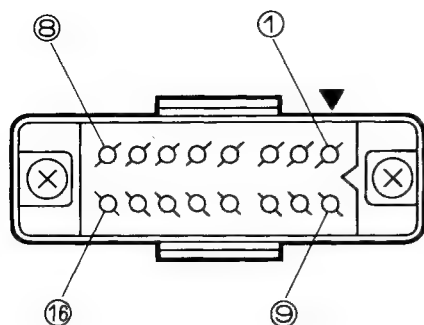


※出力リレーユニット RIU-2301 はオプションユニットの追加が必要です。

各コネクタのピン番号と機能

JC1 JC2 JC4

抜け止め付角型コネクタ



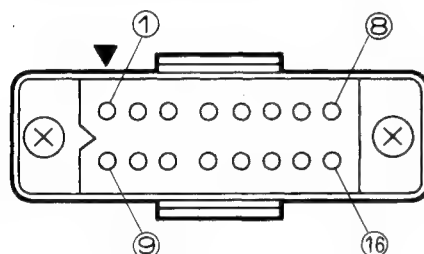
JC1 JC2

ピン番号	機 能	ピン番号	機 能
①	予備 (—)	⑨	予備 (—)
②	予備 (—)	⑩	予備 (—)
③	予備 (—)	⑪	電源表示制御 (POW)
④	予備 (—)	⑫	予備 (—)
⑤	予備 (—)	⑬	ライン 5 制御 (L 5)
⑥	予備 (—)	⑭	ライン 4 制御 (L 4)
⑦	予備 (—)	⑮	チャイム制御 (CH)
⑧	予備 (—)	⑯	割込制御 (B I)

JC4

ピン番号	機 能	ピン番号	機 能
①	電源起動入力 1 (Rp1)	⑨	(優先 COM 2)
②	電源起動入力 2 (Rp2)	⑩	(優先 COM 3)
③	電源起動入力 3 (Rp3)	⑪	(優先 COM 4)
④	使用中表示 1 (BUSY1)	⑫	(優先 COM 5)
⑤	使用中表示 2 (BUSY2)	⑬	(優先 COM 6)
⑥	予備 (—)	⑭	(優先 COM 7)
⑦	制御 COM (COM)	⑮	(優先 COM 8)
⑧	(優先 COM 1)	⑯	接続なし NC

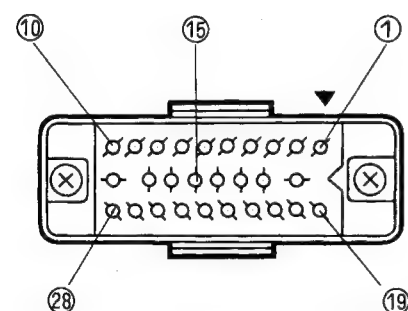
JC7 抜け止め付角型コネクタ



JC7

ピン番号	機 能	ピン番号	機 能
①	□□□□ 回線 1 制御	⑨	□□□□ 回線 8 制御
②	□□□□ 回線 2 制御	⑩	□□□□ 回線 9 制御
③	□□□□ 回線 3 制御	⑪	□□□□ 回線 10 制御
④	□□□□ 回線 4 制御	⑫	□□□□ 回線 6~10 緊急制御
⑤	□□□□ 回線 5 制御	⑬	電源制御 (Rp)
⑥	□□□□ 回線 1~5 緊急制御	⑭	制御電源 + B (+B)
⑦	□□□□ 回線 6 制御	⑮	制御電源 - (—)
⑧	□□□□ 回線 7 制御	⑯	アース (GND)

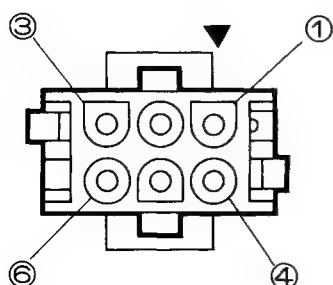
JC3 抜け止め付角型コネクタ



JC3

ピン番号	機 能	ピン番号	機 能
①	制御入力 1 (RM 個別 1)	⑮	制御入力 15 (RM1 個別 7)
②	制御入力 2 (RM 個別 2)	⑯	制御入力 16 (RM1 個別 8)
③	制御入力 3 (RM 個別 3)	⑰	制御入力 17 (RM1 個別 9)
④	制御入力 4 (RM 個別 4)	⑱	制御入力 18 (RM1 個別 10)
⑤	制御入力 5 (RM 個別 5)	⑲	制御入力 19 (RM1 ±ALL)
⑥	制御入力 6 (RM1 ±ALL)	⑳	制御入力 20 (—)
⑦	制御入力 7 (—)	㉑	制御入力 21 (—)
⑧	制御入力 8 (—)	㉒	制御入力 22 (—)
⑨	制御入力 9 (—)	㉓	制御入力 23 (—)
⑩	制御入力 10 (—)	㉔	制御入力 24 (—)
⑪	制御入力 11 (—)	㉕	制御入力 25 (RM4 ±URG)
⑫	制御入力 12 (RM4 ±URG)	㉖	制御入力 26 (RM3 ±ALL)
⑬	制御入力 13 (RM3 ±ALL)	㉗	制御入力 27 (RM2 ALL)
⑭	制御入力 14 (RM1 個別 6)	㉘	チャイム制御 (CH ALL)

JC6 抜け止め付圧着コネクタ



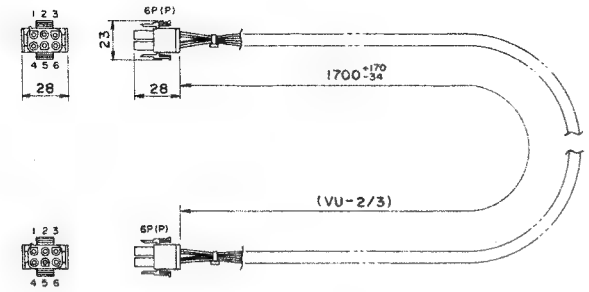
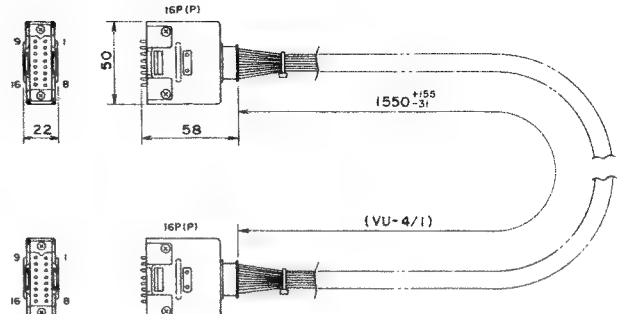
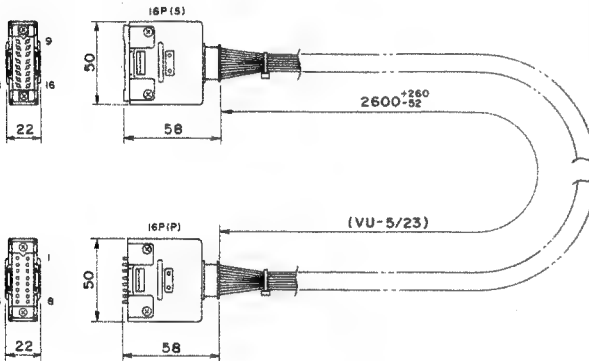
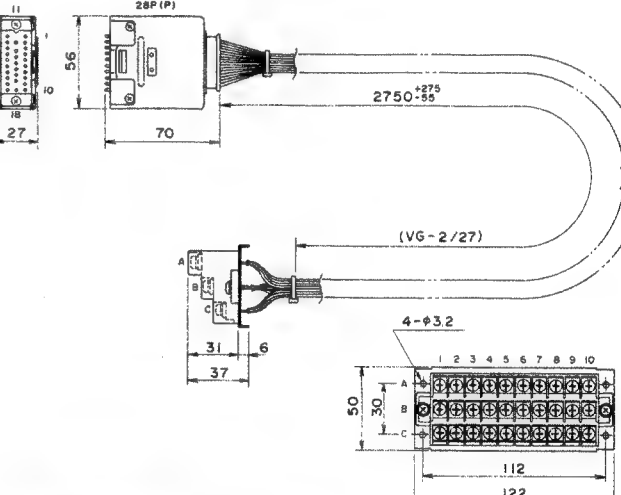
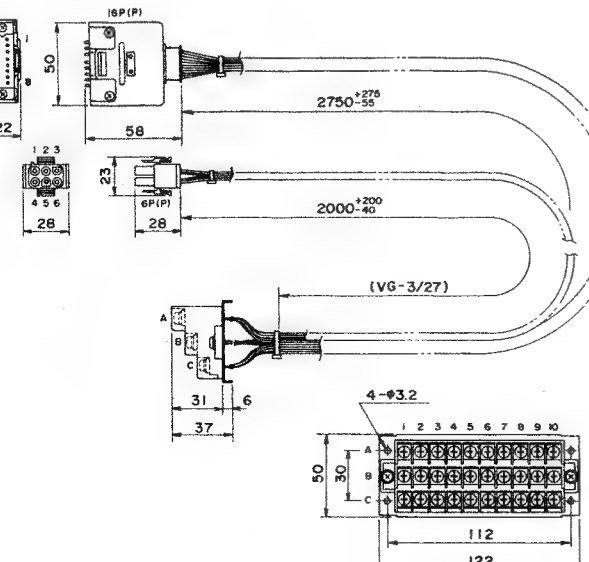
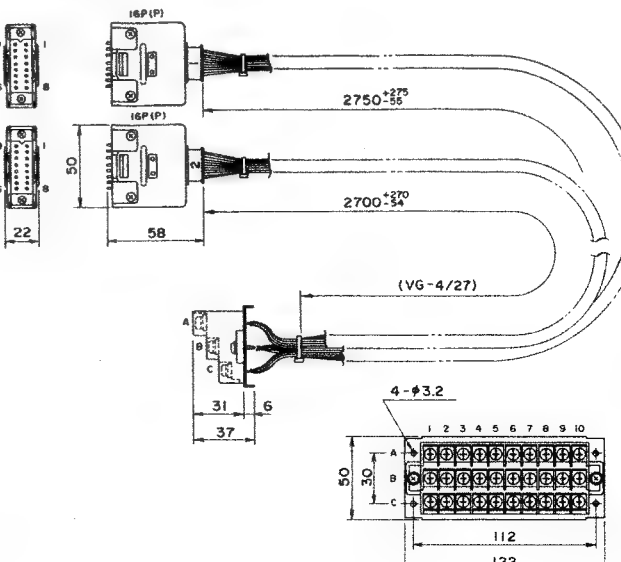
JC6

ピン番号	機 能
①	接続なし NC
②	ライン 5 制御 (L 5)
③	ライン 4 制御 (L 4)
④	チャイム制御 (CH)
⑤	割込制御 (B I)
⑥	電源表示制御 (POW)

注) コネクタ付近の三角マークはコネクタの1番ピンの表示です。

別売の接続コードの説明

コードの品番の最後の数字(/以降の数字)は、接続されるユニット間の最大間隔をユニット数で表わしております。
 例) VU-3/25は25U離してユニットを取り付けられる事をいいます。
 ただし、配線の方法により変わりますので目安としてご使用ください。

<p>ユニット間接続用コード VU-2/3</p> 	<p>ユニット間接続用コード VU-4/1</p> 
<p>ユニット間接続用コード VU-5/23</p> 	<p>外線接続用コード VG-2/27</p> 
<p>外線接続用コード VG-3/27</p> 	<p>外線接続用コード VG-4/27</p> 

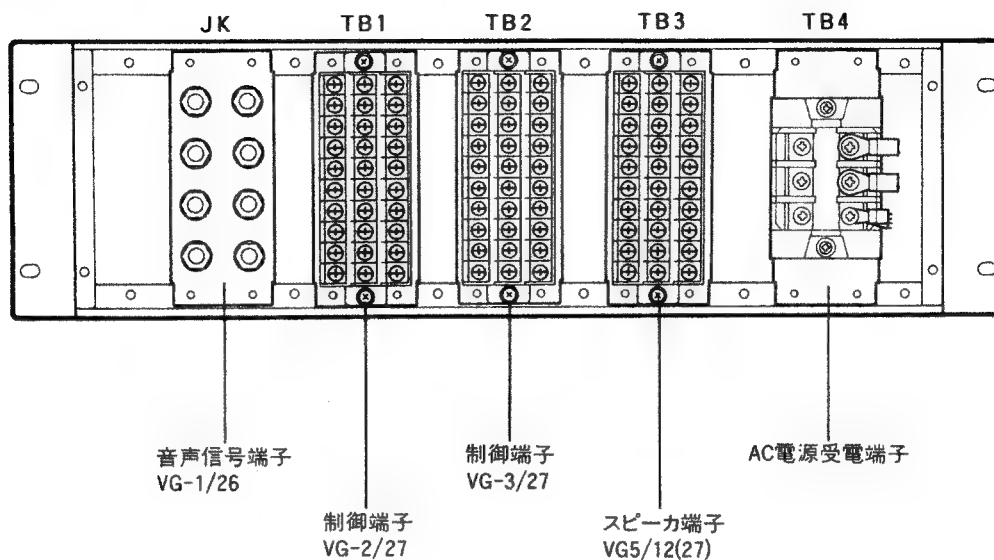
外線接続ユニット RIJ-3091への取付方法 (外線接続用コード端子)

外線接続ユニットRIJ-3091に外線接続用コード端子を取付ける場合は、下記の図のように端子を配置取付けを行ってください。

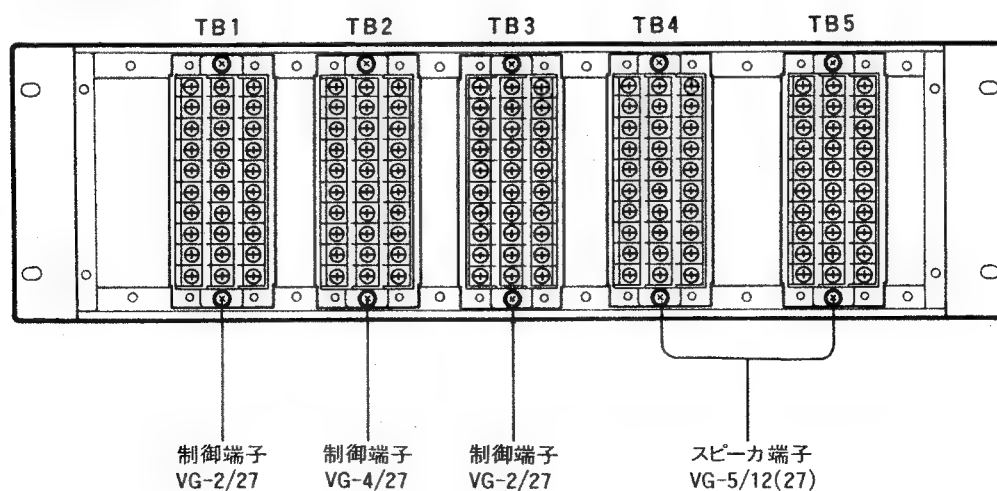
10回線の場合は、RIJ-3091が1台、20・30回線の場合は2台必要です。

ラック本体正面より

[10回線]



[20.30回線時追加]



外線接続ユニットRIJ-3091には、端子表(ノリ付き)が付属しています。
この取扱説明書にある端子表同様に記入し、RIJ-3091のふた内側に貼りつけるか、ラック近辺に備えつけて下さい。
点検・サービス時に必要です。

□ □ □ 1

BNC1 (VG 7/ 34)

BNC2

BNC3

BNC4

J K- 1 (VG 1/ 26)

J K- 2

J K- 3

J K- 4

J K- 5

J K- 6

J K- 7

J K- 8

TB- 1 (VG 2/ 27)		
1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB- 2 (VG 3/ 27)		
1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB- 3 (VG 5/ 12, VG 5/ 27)		
1	A	N
	B	R
	C	C
2	A	N
	B	R
	C	C
3	A	N
	B	R
	C	C
4	A	N
	B	R
	C	C
5	A	N
	B	R
	C	C
6	A	N
	B	R
	C	C
7	A	N
	B	R
	C	C
8	A	N
	B	R
	C	C
9	A	N
	B	R
	C	C
10	A	N
	B	R
	C	C

TB- 4 (□ □)		
1	AC100V	P1
2	AC100V	P2
3	GND	

TB- 1(VG 2/ 27)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB- 2(VG 4/ 27)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB- 3(VG 2/ 27)

1	A	
	B	
	C	
2	A	
	B	
	C	
3	A	
	B	
	C	
4	A	
	B	
	C	
5	A	
	B	
	C	
6	A	
	B	
	C	
7	A	
	B	
	C	
8	A	
	B	
	C	
9	A	
	B	
	C	
10	A	
	B	
	C	

TB- 4(VG 5/ 12, VG 5/ 27)

1	A		N
	B		R
	C		C
2	A		N
	B		R
	C		C
3	A		N
	B		R
	C		C
4	A		N
	B		R
	C		C
5	A		N
	B		R
	C		C
6	A		N
	B		R
	C		C
7	A		N
	B		R
	C		C
8	A		N
	B		R
	C		C
9	A		N
	B		R
	C		C
10	A		N
	B		R
	C		C

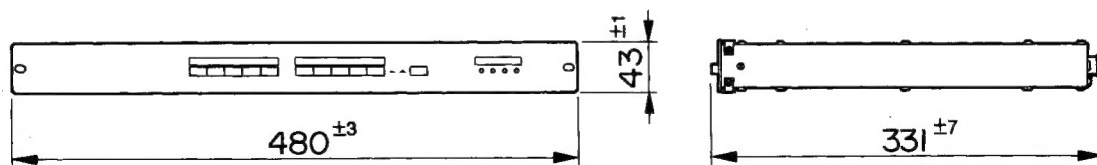
TB- 5(VG 5/ 12, VG 5/ 27)

1	A		N
	B		R
	C		C
2	A		N
	B		R
	C		C
3	A		N
	B		R
	C		C
4	A		N
	B		R
	C		C
5	A		N
	B		R
	C		C
6	A		N
	B		R
	C		C
7	A		N
	B		R
	C		C
8	A		N
	B		R
	C		C
9	A		N
	B		R
	C		C
10	A		N
	B		R
	C		C

[illegible]

外観寸法図

(単位 mm)



日本電音株式会社
ユニテックス株式会社

RKTR S101-HD-4